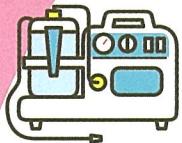




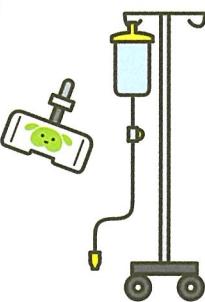
医療的ケア児者とは？

人工呼吸器や胃ろう、日常的にたんの吸引や栄養の注入などの医療的なケアが必要な子どもや成人。



子どもは全国で18,000人以上、山形県で約120人おり、支援が行き届かないため家族の負担が大きくなっています。

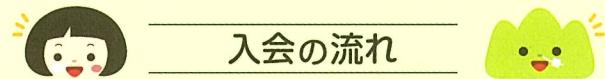
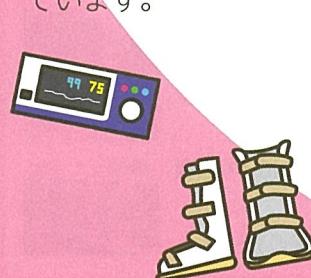
最近では、動ける医療的ケア児者(肢体不自由や知的障がいを伴わない)が増えてきています。



重症児者とは？

重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複している状態にある子どもや成人。

医療的ケアを必要とする重症児者(超重症児者)も増えてきています。



入会の流れ

- STEP1** 申し込み用紙に記入してFAX
- STEP2** 事務局より連絡
- STEP3** 振込にて会費入金
- STEP4** 事務局より入金確認の連絡
- STEP5** 会報や研修会等の情報提供

一般会員 医療的ケア児者及び重症児者とその家族
年会費／2,000円

賛助会員 活動を応援してくれる個人または団体
年会費／個人一口 1,000円
法人一口 5,000円

振込先

口座名義／山形県医療的ケア児者・重症児者の会
 ・山形銀行南館支店／普通 No.669377
 ・庄内銀行桜田支店／普通 No.1088495



お問い合わせ

山形県医療的ケア児者 ・重症児者の会事務局

合同会社ヴォーチェ まなびのへやバンビーナ吉原 内

FAX ▶ 023-664-1736

住所 ▶ 〒990-2453 山形県山形市若宮 4-5-11
 TEL ▶ 023-664-1735 (担当 佐藤奈々子)
 WEB ▶ <http://www.voce-yamagata.net>
 mail ▶ banbi-y@voce-yamagata.net



医療的ケア児者 ・重症児者の会



山形県医療的ケア児者・重症児者の会



家族の想い

両親の想い

介護じゃなくて育児がしたい。

子どものケアを気にせず、朝までぐっすり眠りたい。

きょうだいとの時間や関わりも大事にしたい。

仕事を通して社会と繋がりたい。

子どもの将来の心配を軽くしたい。

本当はぼくも思いっきりママをひとりじめして甘えたい。

ぼくの学校行事も見に来てほしいな。

入院中はママに会えなくてさみしいんだ。

本人の想い

地域の保育園、幼稚園、学校に付きそいなしで通いたい。

家族の笑顔をたくさん見たい。

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい。



総会

年1回

年に1回会員や関係機関の方が集まり、規約や活動内容について話し合います。



活動内容

会報

年2回

会の活動や医療的ケア児者、重症児者の暮らしに必要な情報を発信します。

活動内容

研修会・イベント

不定期開催

当事者・ご家族・きょうだいを対象とした楽しいイベントや研修を企画し、交流を深めます。



ひとりじゃないよ。

うん！うん！とうなずける仲間がいる。
応援してくれる人たちがいる。

私たちは、弱くはかない一方で、強く生きる力を持った子どもたちを育てています。

子どもの成長に伴って、親は初めて出会う困難に戸惑うことが多いです。

「どこに聞けばいいのかわからない」「手伝ってくれる人もいない」この世の中に私たち家族だけが取り残されているのではないかと思うほどの孤独を感じたこともありました。

そんな同じ悩みを持つ家族や、そんな私たちを気にかけてくれる人たちが集まる場所に一步足を踏み入れると、悩みを語りあったり、いろんな情報を持ったりすることで「ひとりじゃない」と少しずつ笑顔を取り戻すことができました。少しずつ勇気がわいてきました。

うん！うん！とうなずける仲間がいる。応援してくれる人たちがいる。この会が人と人とをつなぐ架け橋となり、誰もが笑顔で暮らせる山形県をつくる小さな一歩になればと願っています。

おしゃべりカフェ まーの

月1回

月に1回おいしいお菓子とお茶の香りに包まれながらアロマやクラフト、パステルアートなどのワークショップを行っています。



きょうだい、パパ、ママの交流や休息を目的としています。



開催日はFacebookをご覧ください。